

(別添4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和6年3月1日記載)

アルプス学園は、昭和37年1月に知的障害児施設として開設し、昭和60年4月に児・者転換し、現在に至っています。

入所利用者の皆様の尊厳を守り、その権利を擁護すると共に、その人らしさを損なうことのない、生き生きとした生活・活動ができるように支援に努めてまいりました。また、近隣を含めた地域との交流に心がけ、市町村、関係福祉サービス事業所や医療機関等との密接な連携に努めてまいりました。

今回の福祉サービス第三者評価は、アルプス学園として初めての受審となりました。今回の受審で、一定の評価を頂いた点はさらに充実を図り、改善する必要があるとされた点につきましては、職員全体で検討を行い、よりよい生活環境とサービスの提供を目指し、ご利用者様の将来を見据えた支援の充実にさらに努めてまいりたいと考えております。

また、これまで以上にご利用者様やご家族様又関係機関の皆様から信頼される施設づくりに努めてまいります。

障害者支援施設 アルプス学園

園長 長田基佳

- * 公表の同意をした場合は、評価機関に、電磁的に作成し電磁的に保存した媒体及び当該媒体を出力した書面（署名をすること。）を提出すること。
- * 評価機関は、福祉サービス事業者から提出のあった当該書面を県へ提出すること。